

# ISIS後のイラク・シリアにおける 平和構築と難民支援 ～国連UNHCR協会・現場からの報告

国連UNHCR協会の滝澤三郎特別顧問及び上智大学の東大作教授は、今年2月中旬にイラクバグダッドを訪問し、アバディ元首相、マリキ元首相をはじめ主要政党指導者と平和構築や難民・国内避難民問題について議論した。また国連UNHCR協会の星野守事務局長は別途イラク北部アルビルを訪問し、現地で活動するJIM-Netの斉藤亮平氏と共に難民キャンプを訪れた。これらの報告に基づいてイラクやシリアの難民支援と平和構築の課題、日本の役割について考える。

## シンポジウム「ISIS後のイラク・シリアにおける平和構築と難民支援」

### [登壇者]

- ・ 滝澤三郎 氏 国連UNHCR協会特別顧問  
上智大学ブランディング事業「人間の安全保障」外部評価委員
- ・ 斉藤亮平 氏 JIM-NET(日本イラク医療支援ネットワーク) アルビル駐在員
- ・ 星野守 氏 国連UNHCR協会事務局長
- ・ 東大作 教授 (司会兼務)  
上智大学グローバル教育センター、人間の安全保障研究所



滝澤三郎 氏



斉藤亮平 氏



星野守 氏



東大作 氏

日時：6月17日(月) 19:05～21:05 (開場18:30)

会場：上智大学 四谷キャンパス 2号館17階 国際会議場

言語：日本語(同時通訳なし)

対象：学生、教職員、一般の方

入場無料

要事前申込

共催：上智大学人間の安全保障研究所  
国連UNHCR協会

申込はこちら→  
<https://eipro.jp/sophia/>

